

安全チェックリスト

確認した事項に☑を付けて下さい。裏面の留意事項を読んで安全に努めましょう。

確認場所 (提供会員宅 依頼会員宅 移動)

☑欄

1. 火災や地震の際の避難方法を考えていますか 避難(場)所()	<input type="checkbox"/>
2. ドアがバタンと閉まらないような対策をしていますか	<input type="checkbox"/>
3. 子どもが触ると危険なものは、子どもの手の届かないところに置いてありますか	<input type="checkbox"/>
①タバコ、薬、化粧品、洗剤、ビニール袋などの日用品	<input type="checkbox"/>
②はさみ、カミソリ、包丁などの刃物類	<input type="checkbox"/>
③ボタン、硬貨、指輪、ヘアピンなどの飲み込む恐れがあるもの	<input type="checkbox"/>
④アイロン、ポット、鍋などやけどの原因となるもの	<input type="checkbox"/>
4. 暖房としてストーブやファンヒーターを使う際、やけどに気をつけていますか	<input type="checkbox"/>
5. 子どもがいる時、タバコを吸ったり、熱いものを飲んだりしませんか	<input type="checkbox"/>
6. 浴室に鍵をかけるなどの溺水対策をしていますか	<input type="checkbox"/>
①洗濯機、浴室の扉	<input type="checkbox"/>
②浴槽、大きなバケツ等の溜水	<input type="checkbox"/>
7. ベランダや窓の側に踏み台となるようなものがおいてありませんか	<input type="checkbox"/>
8. 貴重品その他大切なものは、子どもの目や手に触れない所にしまっていますか	<input type="checkbox"/>
9. 子どもの遊び場、特に道路で遊ばないよう安全について注意していますか	<input type="checkbox"/>
10. おもちゃの安全や清潔について注意していますか	<input type="checkbox"/>
11. 屋外に出るときは、側にいて子どもから目を離さないようにしていますか	<input type="checkbox"/>
12. 階段や段差のあるところには、子どもが落ちないような対策がしてありますか	<input type="checkbox"/>
13. その他	<input type="checkbox"/>

※事故発生時には速やかな対応と連絡をお願いします。

- ① 119番(救急車)又は#7119番(救急相談センター)へ連絡する
- ② 依頼会員へ連絡する。常に緊急連絡先を携帯する
- ③ ファミサポ事務局へ連絡する 多摩平 042-589-7616 高幡 042-599-7616
夜間・休日の緊急 090-3335-7616

※災害時の活動について

- ① 当日活動予定であっても災害が起きた時点で活動に入っていない場合は、原則として、その活動は中止とします。
- ② 保育所・学童クラブ等に迎えに行ってから移動の時に災害が発生し、依頼会員に連絡が取れない・帰宅困難等の状況によってはお子さんが通う施設(保育所、学童クラブ等)に預かってもらうことも出来ます。 預け先施設 ()
- ③ 活動中に避難が必要な状況の場合は、日野市指定の避難(場)所へお子さんとともに避難していただくこととなります。 市指定避難(場)所()

これは、災害発生時には依頼会員との連絡がとれなくなることが想定され、提供会員に際限なく負担がかかる可能性があるためです。依頼会員には、この事情をご理解いただき、予め災害時の対応等を双方で検討しておいて下さるよう、お願いします。

尚、災害発生時のお子さんの所在については、貼り紙を残したり、171 伝言ダイヤルを利用したりして依頼会員に伝わるよう、ご配慮をお願いします。

※171 伝言ダイヤルについては、予め利用法の確認をお願いします。

以上、確認しました。

年 月 日

提供会員

依頼会員

アドバイザー

日野市ファミリーサポートセンター

留意事項

1 万が一、火災や地震があった場合、まず何を するか考えましょう。

過ごしている部屋から屋外への脱出経路を確認しておきましょう。地域の避難場所とそこまでの経路を確認しておきましょう。

2 ドアがバタンと閉まらないように対策を しましょう。

ドアを開閉するときは赤ちゃんや子どもの手の位置を確認しましょう。ドアを開けておくときは、急に閉まらないようにドアストッパーなどで固定しましょう。ちょうつがい部分にも指が入らないように注意が必要です。

3 子どもが触ると危険なものは、子どもの 届かない所に置きましょう。

バックの中に入れていれば大丈夫と思っても好奇心旺盛な赤ちゃんは開けてしまうこともあります。手の届かないところにおきましょう。手が届く引き出しは開けることができないようにロックをしておきましょう。

4 ストープやヒーターは子どもがふれない ようにガードしましょう。

冬は暖房器具によるやけどが多くなります。ヒーターの噴出し口に指をついたり、転んでストーブに触れてしまったりします。子どもの皮膚は大変弱く、ほんの少しの熱でも重症なやけどを負う危険があります。熱源が直接触れないように、ガードをして使用しましょう。ストーブの上にやかんは置かないようにしましょう。

5 熱い食べ物や飲み物はテーブルの中央に 置きましょう。

6 浴室に入れないように鍵がかけられない 場合は浴槽の水は抜いておきましょう。 少しの溜り水でも溺れることがあります。

7 ベランダや窓の側に踏み台になるものは 無くしましょう。

高い階にあるベランダや窓からの転落事故は死亡や重傷などの生命にかかわる事故につながります。ベランダには新聞の束、ビール瓶のケース、大きなクーラーボックス、高さのある植木鉢など、踏み台になるものは置かないようにしましょう。子どもがのぞきこめる窓のそばにはソファ、椅子、テーブルなど子どもの這い上がれる物は置かないようにしましょう。

8 貴重品その他大切なものは、子どもの 目や手に触れない所にしまっておきましょう。

9 道路で遊んでしまうと大変危険です。 遊ぶ場所と道路の区別をしましょう。

道路ではふざけず、小さい子は手をつなぎ大人は車道側を歩くようにしましょう。

10 おもちゃに破損がないか、壊れやすくない か、欠けているなど危険がないか使用前に 確認しましょう。

幼い子が使う場合、大きさ（誤飲しない大きさかおおきさか）や、鼻や耳に入れて遊んでいないか、また衛生面にも注意しましょう。

11 屋外は室内より外的な危険があります。 公園で遊ぶ場合もとっさに助けられるように 側にいてよく見守っててください。

事故を経験してしまった保護者の80%以上が、「少しの気配りをするだけで、事故を防ぐことができた」とアンケートで回答されています。

12 階段の昇降は、大人が子どもの下側を 歩きましょう